



# 鹿島小だより

中能登町立鹿島小学校  
令和6年4月23日(火)

No. 2

TEL 76-1100

FAX 76-1088

文責：清水ひとみ

学校ホームページ 中能登町立鹿島小学校

学校メールアドレス kashima\_es@school.town.nakanoto.ishikawa.jp

めざす児童像：自ら学びよく考える子(全力)

心豊かで思いやりのある子(協力)

ねばり強くたくましい子(持続力)

自ら考え正しい価値に向かう子(自浄力)

## 【令和6年度 前期児童会】

児童会会長：木原 大樹

児童会副会長：服部 悠人

原田 一慶

児童会書記：小山 杏奈

水口 亜優

代表委員長：木原 大樹

放送委員長：小谷 幸輝

図書委員長：船塚 歩佳

環境委員長：岡野定果恩

保健委員長：福井 妃穂

体育委員長：松山 栞

給食委員長：車 玲奈

## 前期児童会 活動！

前期児童会役員・委員長が決まり、早速動き出しています。22日(月)には任命式があり、一人一人が力強く抱負を言ってくれました。今後は楽しみです。



児童会による「あいさつ運動」



## 交通安全教室：1・2年生

### ～歩行と交差点の横断について～

16日(火)、七尾警察署と二宮駐在所から2名の警察官の方に来ていただき、「正しい歩行の仕方」を身に付け、交通安全についての意識を高めること、「日頃自分たちの安全を守ってくださっている方々への感謝の気持ちを持ち、命の大切さについて自覚すること」を目指し、実施しました。

1・2年生は、学校前の歩道に出て、歩行と交差点の横断の練習をしました。教えていただいたことに気を付けて、真剣に取り組むことができました。見慣れた道路ではありますが、改めて「正しい歩き方・道路のわたり方」を確認することができました。毎日の登下校にぜひ役立てましょう。「自分の命は自分で守る力」を身に付けることが大切です。ご家庭でも、交通安全について、ぜひ話し合ってくださいよう、お願いします。



信号が青に  
かわっても、  
すぐにはわた  
らずに、「右  
左右」を確か  
めて、手を挙  
げてわたりま  
しょう。



次のページに、「令和6年度中能登町立鹿島小学校学校経営方針(ビジョン)」を載せさせていただきました。具現化に向け、全教職員一丸となり、「チーム鹿島小！」で努めていきます。ご理解・ご協力、よろしくお願いたします。

# 令和6年度 中能登町立鹿島小学校学校経営方針(ビジョン)

国・県・町教育委員会  
 学校教育の指針・理念  
 保護者・地域の願い  
 学校運営協議会  
 本校学力調査分析結果

## 教育目標

未来を切り拓くための資質・能力の育成  
 ～自ら学びに向かい、仲間やふるさとを大切に、  
 たくましく生きる児童の育成～  
**「子どもを主語にする教育」の実現**

日本国憲法  
 教育基本法等関係法規  
 石川の教育振興基本計画(第3期)  
 県基礎学力調査  
 全国学力・学習状況調査

## 【めざす学校像】

- ・ **Well Being** 児童・教職員が楽しく生き生きと学び、働く学校
- ・ **信頼** 家庭・地域から信頼される・愛される学校
- ・ **安全・安心** 児童・保護者にとって安全・安心な学校

令和6年度  
 重点

## 【めざす児童像】

- ・ **全力** 自ら学び よく考える子(知)
- ・ **協力** 心豊かで思いやりのある子(徳)
- ・ **持久力** ねばり強くたくましい子(体)
- ・ **自浄力**  
 自ら考え 正しい価値に向かう子

## 【めざす教職員像】

- ・ **組織貢献力** 学校経営方針を理解し、心身共に健康で、明るく意欲的に組織の一員とし力を発揮する教職員
- ・ **機動力** 協働的に取り組む教職員
- ・ **信頼** 児童や保護者から信頼される教職員
- ・ **危機管理意識** 危機を予想し未然に防ぐ最大の努力をし、一致協力して迅速に行動する教職員

## 【安全・安心な学校】

- (1) 4視点で育てる風土づくり
  - ・自己存在感の感受
  - ・共感的な人間関係の育成
  - ・自己決定の場の提供
  - ・安全・安心な居場所づくり
  - 自己肯定感UP&メタ認知
- (2) 震災後の心のケア
  - 心のケアについての理解と組織的対応
- (3) 先あいさつの習慣化
  - 「おはようございます」「こんにちは」、返事等
- (4) 安全できれいな環境づくり
  - 無言清掃、「かかとそろえタスキ・いす」の定着

## 【学力向上の推進】

- (1) 学習者主体の授業づくり
  - 单元デザインの工夫
  - AARサイクル(見通し・行動・振り返り)を意識した授業改善
  - 学びの土台づくり(ベル着、聴く・話す)
- (2) 効果的なタブレット端末の活用の組織的実践
  - 日々の授業・帯タイム・家庭学習の充実
- (3) スモールpdcaを生かした研修体制と共通実践
  - 総合学力調査・研究授業の計画的実践と検証
  - 児童アンケート等の定期的実施

## 【家庭・地域からの信頼】

- (1) 正確な情報収集と積極的な情報発信
  - ホームページ・学校だより・学年だより等
- (2) 地域のモノ・ヒト・コトの積極的活用と交流
- (3) 保護者・地域の方への丁寧且つ迅速な対応
  - 事前に管理職に報告・相談
- (4) 職業人・社会人としてのモデルとなる姿・実践
  - 服装、時間厳守、電話・来校者対応

キャッチフレーズ：「継続(伝統)・挑戦」

## 【学校組織力の向上】

- (1) 一人一人の役割の明確化・自覚化
  - 自己評価可能な具体的な目標の設定と実践の徹底
- (2) リーダーを中心としたチームの機能化・活性化
  - 風通しのよい職場づくり(報告・連絡・相談の徹底)
- (3) 日常的OJT・年間研修計画による若手・中堅教員の早期育成
  - 「令和の対話型若手教員育成プログラム」を基にした教師力の向上

チーム鹿島小!